

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公表番号】特表2013-522804(P2013-522804A)

【公表日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-501492(P2013-501492)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/00 5 2 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月14日(2014.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

独立して動作される複数のユーザコンピュータによって共有デジタルデータの編集を協調する方法であって、前記方法は、

協調デバイスにおいて、

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータから共有デジタルデータを編集するコマンドを受信すること、

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのうちの 2 以上のユーザコンピュータの各々からの前記コマンドのうちの 2 以上によって共有デジタルデータのコンテンツを相反して編集する場合、前記コマンドのうち 2 以上が相互に排他的であることを判定すること、

前記 2 以上の相互に排他的であるコマンドのうちの 1 つのコマンドをグローバルコマンドのキューに組み込んで、前記 2 以上の相互に排他的であるコマンドのうちの他のコマンドを無効にすること、

組み込まれたコマンドの 2 以上が、前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの各々に記憶された共有デジタルデータのローカルバージョンで実行されるように、前記共有デジタルデータではなく前記グローバルコマンドのキューを前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの全てに伝送することを備え、

前記グローバルコマンドのキューが、前記 2 以上の相互に排他的であるコマンドのうちの 1 つのコマンドをグローバルコマンドのキューに組み込んだ後に局所的に実行させるべき前記組み込まれたコマンドに対する前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの各々に伝送される、方法。

【請求項 2】

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのうちの 1 つから受信されるコマンドは、前記協調デバイスを他の独立して動作される複数のユーザコンピュータからのコマンドを制限するようにトリガする、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

前記協調デバイスにおいて、トリガコマンドと同じ前記共有デジタルデータの同じ領域の編集に係る前記他の独立して動作される複数のユーザコンピュータからのコマンドを無効にすることを含む、請求項 2 の方法。

## 【請求項 4】

前記協調デバイスにおいて、前記共有デジタルデータの一部もしくは全体を編集するための一時的な排他的許可を、前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのうちの1台に付与することを含む、請求項1の方法。

## 【請求項 5】

前記共有デジタルデータの前記一部もしくは全体を編集する排他的許可を有する前記ユーザコンピュータは、所定の期間内にドキュメントの前記一部もしくは全体を編集するコマンドを伝送する前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのうちの最初のユーザコンピュータである、請求項4の方法。

## 【請求項 6】

2以上のコマンドが前記共有デジタルデータの同じ部分もしくは重複部分の編集に関係する場合、2以上のコマンドは相互に排他的であると判定される、請求項1の方法。

## 【請求項 7】

2以上のコマンドが同時にもしくは所定の時間間隔内に伝送または受信される場合、2以上のコマンドは相互に排他的であると判定される、請求項1の方法。

## 【請求項 8】

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのそれぞれに局所的に格納されている前記共有デジタルデータの各バージョンは、前記グローバルコマンドを前記共有デジタルデータに実施する前に、独立して修正してもよい、請求項1の方法。

## 【請求項 9】

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの全ては、前記共有デジタルデータの制御に対し等しい優先度を有する、請求項1の方法。

## 【請求項 10】

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータは、前記共有デジタルデータの制御の優先度が異なってもよい、請求項1の方法。

## 【請求項 11】

前記編集することは、前記共有デジタルデータのコンテンツを修正することを含む、請求項1の方法。

## 【請求項 12】

前記編集することは、前記共有デジタルデータの表示を修正することを含む、請求項1の方法。

## 【請求項 13】

独立して動作される複数のユーザコンピュータによって共有デジタルデータの編集を協調するシステムであって、

前記システムは、協調デバイスを備え、

前記協調デバイスは、

メモリと、

プロセッサであって、

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータから共有デジタルデータを編集するコマンドを受信すること、

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータのうちの2以上のユーザコンピュータの各々からの前記コマンドのうちの2以上によって共有デジタルデータのコンテンツを相反して編集する場合、前記コマンドのうち2以上が相互に排他的であることを判定すること、

前記2以上の相互に排他的であるコマンドのうちの1つのコマンドをグローバルコマンドのキューに組み込んで、前記2以上の相互に排他的であるコマンドのうちの他のコマンドを無効にすること、

組み込まれたコマンドの2以上が、前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの各々に記憶された共有デジタルデータのローカルバージョンで実行されるように、前記共有デジタルデータではなく前記グローバルコマンドのキューを前記独立して動作され

る複数のユーザコンピュータの全てに伝送することを実行するように動作可能に構成される、前記プロセッサとを含み、

前記グローバルコマンドのキューが、前記２以上の相互に排他的であるコマンドのうちの１つのコマンドをグローバルコマンドのキューに組み込んだ後に局所的に実行させるべき前記組み込まれたコマンドに対する前記独立して動作される複数のユーザコンピュータの各々に伝送される、システム。

【請求項１４】

前記システムは、

前記独立して動作される複数のユーザコンピュータによってアクセス可能な前記共有デジタルデータを格納する共有メモリ位置を備える、請求項１３に記載のシステム。